

TAITO フューチャースクール検討委員会 中間報告(案)

令和 7 年 9 月 1 8 日

1 はじめに

(1) 委員会設置の背景と目的

令和 3 年 1 月 2 6 日に中央教育審議会が取りまとめた『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)」において、新しい時代の学びの姿が示された。

また、加速度的に社会が変化しているということが言われて久しいが、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0 時代」の到来、生成 AI の加速度的発展などにより、これまでの想定を超えて社会の変化が加速化・非連続化している。

そのような時代にあって、「令和の日本型学校教育」の姿として、学校における DX の下、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められている。

そこで、ICT を学校教育の基盤的なツールとして活用して、台東区立学校における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童・生徒が持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成するとともに、校務の効率化等により教員の働き方改革となる「新しい時代の学校」の実現を図ることを目的として、本委員会を設置した。

(2) 検討の視点と基本方針

台東区における「新しい時代の学校」を Target innovation to the Future School (未来に向けた目標志向と革新のある学校、以下、「TAITO フューチャースクール」という。)とし、台東区学校教育ビジョンとの整合を図る。

また、中央教育審議会における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方や、デジタル学習基盤の在り方、質の高い教師の確保に向けた環境整備の在り方など、様々な視点からの多角的な議論を踏まえる。

さらに、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性に照らして、TAITO フューチャースクールの在り方と実現に向けた方策について検討を進めてきた。

(3) 報告書の位置付け

本中間報告は、2 年間の議論を経て、本委員会に参画した委員間で一定の共通認識を得たものを中心として TAITO フューチャースクールの在り方に関し今後検討を深めるべき具体的な方策等について、意見をまとめたものであり、これからモデル校の更なる実践等を踏まえ、具体的な検討を行っていくことが望まれる。今後、本中間報告については、TAITO フューチャースクールの在り方と実現に向けた方策について検討を行っていく際の基礎的な資料として活用されることを期待したい。

2 検討の経緯

(1) 委員会の開催状況（回数、主な議題）

○ 令和6年度

- ・ 第1回 委員委嘱、委員長・副委員長選出、委員会の目的・スケジュール等
- ・ 第2回 先進校視察報告、モデル校報告、委員提案、コンセプト提案
- ・ 第3回 先進校視察報告、モデル校報告、コンセプト提案、次年度スケジュール

○ 令和7年度

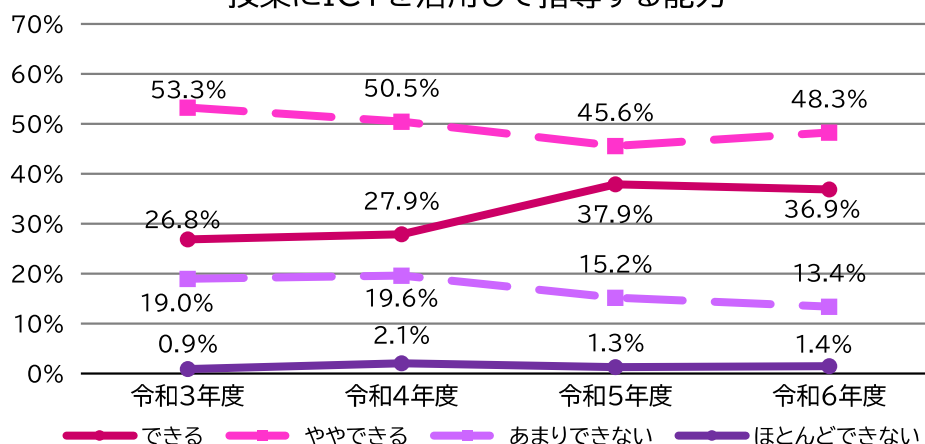
- ・ 第1回 委員会の目的・スケジュール等、モデル校報告
- ・ 第2回 先進校視察報告、モデル校報告、中間報告提案
- ・ 第3回 モデル校報告、中間報告検討
- ・ 第4回 モデル校報告、中間報告検討

(2) 現状と課題の整理

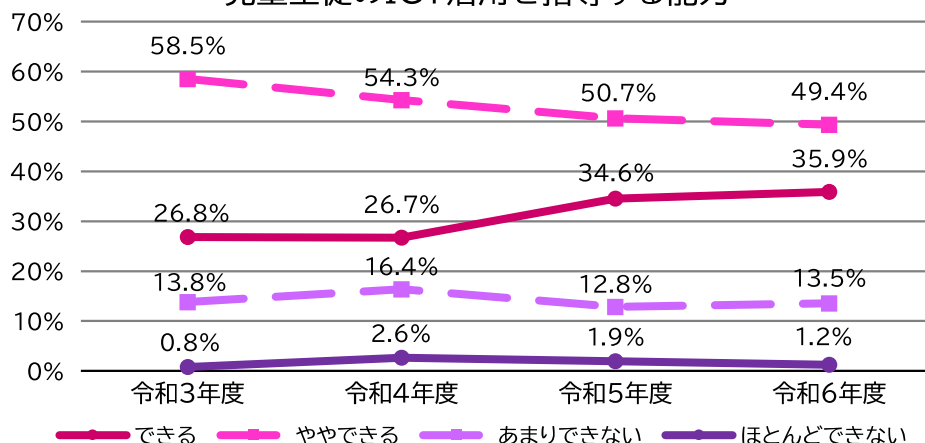
○ 文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

- ・ 設問「授業にICTを活用して指導する能力」及び設問「児童生徒のICT活用を指導する能力」の回答結果から、いずれの能力も向上していると捉えられるが、苦手意識のある教員が年々減少しているとはいえ、まだ一定数いる。

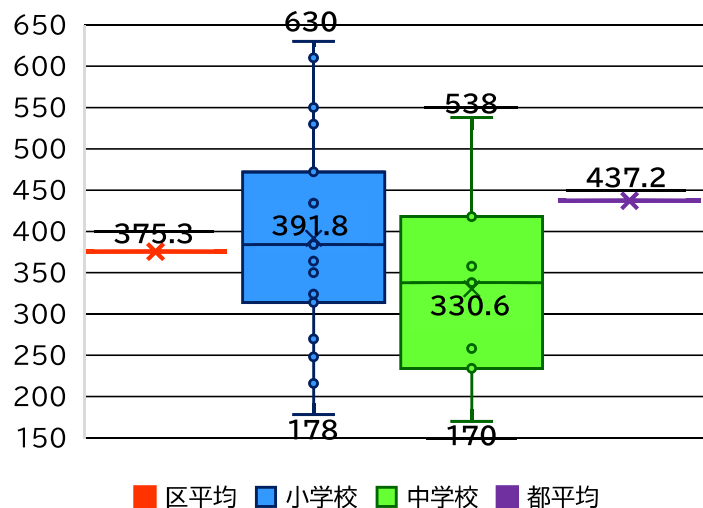
授業にICTを活用して指導する能力



児童生徒のICT活用を指導する能力



- 文部科学省の「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」
 - ・ 令和 6 年度の回答結果から、平均値において東京都よりも約 60 ポイント低い。
 - ・ 小学校と中学校の平均値の差は、約 60 ポイントある。さらに、校種間よりも学校間の差が大きく、最大値と最小値の差は小学校では 452 ポイント、中学校では 368 ポイントある。



(3) 先進校視察の概要

- 視察先
 - ・ 令和 6 年 5 月 29 日（水）・30 日（木）富山市立芝園小学校
 - ・ 令和 6 年 7 月 5 日（金）板橋区立板橋第十小学校
 - ・ 令和 6 年 11 月 25 日（月）豊島区立池袋本町小学校・池袋中学校
 - ・ 令和 7 年 6 月 11 日（水）春日井市立出川小学校
 - ・ 令和 7 年 6 月 13 日（金）春日井市立高森台中学校

○ 検討すべき課題

【教職員の資質・能力の向上】

- ・ 整備された環境を効果的に活用するための教職員の資質・能力を向上するために、モデル校での実践や先進事例等を周知するとともに、アンラーンを促進して意識改革を推進することが必要である。その際、教職員がいつでもどこでも誰でも学べるように、授業動画や授業で活用したデータ等を共有する仕組みを構築する必要がある。
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて ICT 環境や教室環境の整備を図った上で、その環境を活用して子供たちを指導するのは教職員である。ゆえに、教職員には、整備された環境を活用する意識を高めるとともに、活用するための知識や技能を身に付けることが求められる。

- ・『『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について（答申）』において「教師の学びの姿も、子供たちの学びの相似形である」と示されていることから、教職員が研修等を通して ICT 活用の利便性を享受することにより、授業における活用が促進される。そのために、研修内容及び研修体制の更なる改善・充実を図る必要がある。
- ・教職員がいつでもどこでも誰でも学べるように、授業動画や授業で活用したデータ等を共有する学習系ポータルサイトの充実及び活用促進を図る必要がある。

【情報活用能力育成カリキュラム】

- ・学習の基盤である情報活用能力は、デジタル学習基盤の活用にあっても親和性の高い資質・能力であり、計画的かつ継続的に育成することが重要である。
- ・中学校の選択制を採用している本区においては、小学校教育までの学習の成果を中学校教育に円滑に接続するために、9年間を見通した系統性のある情報活用能力育成カリキュラムを作成する必要がある。

【学校 DX 化の推進】

- ・Wi-Fi 環境が整備されていることから、個々の学校内だけでなく区立学校全体においてクラウド上で全てのデータ処理を行えるようにする必要がある。
- ・分散型コミュニケーションを可能とするチャット機能や共同編集機能等を積極的に活用し、働き方改革を推進する必要がある。
- ・校務系ネットワークと学習系ネットワークを統合した次世代ネットワークの導入は必須である。

【教育環境の整備】

- ・多様な学習を自由かつ柔軟に展開できるように、教室と接する場所にオープンスペースを配置することが最適ではあるが、オープンスクール型、片（中）廊下型のいずれの教室配置においても実践することができる学校教育について検討を進めていく必要がある。
- ・『『新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について』最終報告』において「学校施設全体を学びの場」として捉え、「廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる」と示されていることを踏まえて、固定観念を払拭する必要がある。

【生成 AI の利活用】

- ・児童・生徒の文書生成 AI の利活用については、原則控えることとしているが、将来的な児童・生徒の利活用を視野に入れ、教職員の生成 AI 利活用を推進し、見識を深める必要がある。
- ・校務において生成 AI を適切に利活用し、業務効率を大幅に向上させ、教職員の時間的な余白（ゆとり）を生み出す必要がある。

3 中間的な提言・方向性

○ TAITO フューチャースクールの実現に向けた方向性

ICT を学校教育の基盤的なツールとして活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるとともに、校務の効率化等により教員の働き方改革となる「新しい時代の学校」の実現を目指す。

【新しい時代の学びの姿】

○ 社会情勢の変化

- ・社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0 時代」の到来
- ・新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

○ 「令和の日本型学校教育」の姿

学校の ICT 環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

○ 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性

- ・学習指導要領の着実な実施
- ・9年間を見通した義務教育の在り方
- ・学校における働き方改革の推進
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・GIGA スクール構想、ICT の活用
- ・多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応
- ・少人数による指導体制の整備

【台東区学校教育ビジョン】

「まちを学びのキャンパスとし、世界に飛躍し未来を創造する人を育成する」

○ 育てたい人間像

- ・まちを愛し、人を愛し、他とのかわりの中で自分を大切にする人
- ・自分のよさや可能性を認識し、様々な社会的変化に対応できる人
- ・新たな地域や社会を創造しようとする高いこころざしをもつ人

【TAITOフューチャースクールのコンセプト】

「一人一人が学びの主役として活躍し、自分や世界を変革していく学びを実現する」

TAITOフューチャースクールが大切にする【3つのI】

学びの主役は一人一人の**子供** 個別最適な学びと協働的な学び 子供(教師)同士の学び合いと
子供を導く一人一人の**教師** を実現するための 多様な他者と協働した**探究**
学習基盤としての **ICT**

TAITOフューチャースクールの在り方

一人一人に応じた多様で柔軟な学びの展開 ・子供が学びを自己調整し、自ら教材・方法・ペース等を選択できる学習環境の構築 ・子供が自らアクセスできる多様な学習材の活用		多様な他者とのつながりのある学びの展開 ・異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す多様な他者との協働 ・多様な地域・社会の教育資源の活用	
情報活用能力の向上 ・情報の収集、判断、表現、処理、創造、発信、伝達の質的向上 ・情報モラル・リテラシーの向上	デジタルの力でリアルな学びを支える デジタル学習基盤の充実 ・汎用クラウドツールの活用 ・学習支援ツールの活用	高いこころざしの育成 ・各教科等における探究的な学習活動の充実 ・個々のキャリア形成に資する教育活動の充実	
教職員の資質・能力の向上 ・慣習や固定観念にとらわれない教職員の意識改革 ・実践事例等の教育情報共有プラットフォームの充実 ・生成 AI 等先端技術の有効活用		余白(ゆとり)の創出・活用 ・校務系と学習系を統合した次世代ネットワークの整備 ・ABW(Activity Based Working)に基づいた多様かつ柔軟な教育施設の活用	

4 今後の検討課題

(1) 情報活用能力育成カリキュラムの作成

学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を教科等横断的、かつ発達段階に応じて系統的に育成していくために、義務教育9年間を見通した情報活用能力育成カリキュラムを作成する必要がある。

(2) 生成AIの利活用

台東区立学校における生成AIの利活用に関するガイドライン(第1版)に基づき、校務における生成AIの利活用を推進することを通して、効果的な活用事例を蓄積するとともに、児童・生徒の生成AI利活用の在り方について検討する必要がある。

(3) 次世代ネットワーク構築に向けた方向性の提示

モデル校における Google Workspace の効果的な活用事例を蓄積するとともに、Microsoft365 との共通点や相違点を明確にし、校務系ネットワークと学習系ネットワークの統合に向けた課題を整理する。その上で、次世代ネットワーク構築に向けた方向性について検討する必要がある。

(4) リアルな学びを支えるデジタルの力の検証

学校教育ビジョンの基本理念を表すキャッチフレーズ「まちを学びのキャンパスとし世界に飛躍し未来を創造する人を育成する」とあるように、これまでも「学びのキャンパスプランニング」事業を活用するなどして、区内の博物館・美術館などの文化施設や台東区にゆかりのある企業・団体・学識経験者などと連携した教育活動を行っている。これらの多様な地域・社会の教育資源を活用した教育活動においてデジタルの力を活用して発展・充実させる可能性について検証する必要がある。

(5) 区内学校への展開方法及び支援策の構築

モデル校における ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現する学習活動、学習環境の充実を図り、蓄積した実践事例を学習系ポータルサイトに掲載するなど、区内学校への効果的な情報提供の方法を検討する必要がある。

さらに、一部の教職員による先進的な ICT 活用にとどまることなく、管理職や中心となる教職員から組織的に学校全体の活用底上げへとつなげるための校内体制の在り方について検討する必要がある。

5 資料編（付録）

（１） 委員会構成員一覧（敬称略）

区 分	所 属	令和 6 年度	令和 7 年度
学識経験者	東京学芸大学教授	高橋 純	高橋 純
学識経験者	東京理科大学教授	垣野 義典	垣野 義典
保護者	台東区立小学校 P T A 連合会	坂田 真也	土肥 拓生
保護者	台東区立中学校 P T A 連合会	平柳 洋一	小出 恭正
学校	台東区立小学校長会	田中 康雄	田中 康雄
学校	台東区立中学校長会	渡邊 和彦	渡邊 和彦
行政	教育委員会事務局次長	前田 幹生	佐々木 洋人
行政	庶務課長	山田 安宏	山田 安宏
行政	教育施設担当課長	森田 孝次	中島 伸也
行政	学務課長	川田 崇彰	仲田 賢太郎
行政	指導課長	宮脇 隆	宮脇 隆
行政	教育改革担当課長	増嶋 広曜	増嶋 広曜

（２） 会議資料・参考文献

[台東区公式ホームページ「TAITO フューチャースクール検討委員会」](#)

○ 令和6年度第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和6年5月27日開催

・ 議事録

[第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)

・ 会議資料

[第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)

[【資料 1】「TAITO フューチャースクール」検討委員会 設置要綱、委員名簿](#)

[【資料 2】TAITO フューチャースクール ロードマップ](#)

[【資料 3】第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 説明資料](#)

[【資料 4】中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して\(答申\)【総論解説】](#)

[【資料 5】「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】](#)

[【資料 6】創造的な学習空間の創出に関する調査研究 報告書概要](#)

[【資料 7】「東京都学校教育情報化推進計画」説明資料](#)

[【資料 8】\(上野小学校提出資料\)本物志向・未来志向の学校づくり\(1\)](#)

[【資料 8】\(上野小学校提出資料\)本物志向・未来志向の学校づくり\(2\)\(ポンチ絵\)](#)

- 令和6年度第2回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和6年7月30日開催
 - ・ 議事録
 - [第 2 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)
 - ・ 会議資料
 - [第 2 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)
 - [【資料 1】TAITO フューチャースクール検討委員会 先進校視察報告](#)
 - [【資料 2】\(坂田委員提出資料\)教育現場での動画活用の可能性について～動画が変える未来の風景～](#)
 - [【資料 3】TAITO フューチャースクールのコンセプト](#)
- 令和6年度第3回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和6年12月26日開催
 - ・ 議事録
 - [第 3 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)
 - ・ 会議資料
 - [第 3 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)
 - [【資料 1】区立学校の現状について](#)
 - [【資料 2】TAITO フューチャースクール検討委員会 先進校視察報告](#)
 - [【資料 3】モデル校報告資料](#)
 - [【資料 4】TAITO フューチャースクールの実現に向けた方向性\(案\)](#)
 - [【資料 5】TAITO フューチャースクール R7 年間スケジュール\(案\)](#)
- 令和7年度第1回 TAITO フューチャースクール検討委員会 令和7年5月9日開催
 - ・ 議事録
 - [令和 7 年度第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会\(概要\)](#)
 - ・ 会議資料
 - [令和 7 年度第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 次第](#)
 - [【資料 1】「TAITO フューチャースクール」検討委員会設置要綱](#)
 - [【資料 2】「TAITO フューチャースクール」検討委員会委員名簿](#)
 - [【資料 3】TAITO フューチャースクール ロードマップ](#)
 - [【資料 4】令和 7 年度第 1 回 TAITO フューチャースクール検討委員会 事務局説明資料](#)
 - [【資料 5】「TAITO フューチャースクール」の実現に向けた方向性](#)
 - [【資料 6】研究モデル校報告\(上野小学校\)](#)
 - [【資料 7】研究モデル校報告\(駒形中学校\)](#)
 - [【参考資料 1】中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して\(答申\)【総論解説】](#)
 - [【参考資料 2】「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】](#)
 - [【参考資料 3】創造的な学習空間の創出に関する調査研究 報告書概要](#)
 - [【参考資料 4】「東京都学校教育情報化推進計画」説明資料](#)